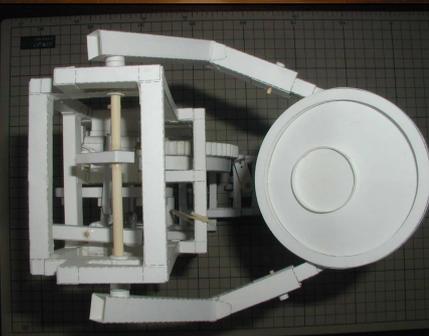
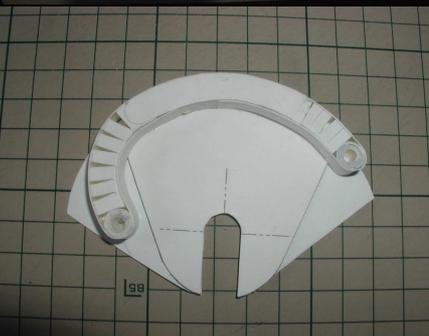


11. 腕部 (Go-Stop スイッチ) の組立

11-1		<p>1) 腕の回転軸中央にレバーをつけておき、フレーム軸受けの外側にカラーおよび、ワッシャー2枚を入れ腕のフレームを差込み、お盆の部分を取り付け左右の腕の振り角をそろえて軸と接着します。このとき両腕の軸方向になるべくガタの無いようにします。</p>
11-2		<p>1) ストップレバーにゴムを取り付け、下方方向にバックテンションをかけレバーがガンギ車のピンにかかる状態にします。 2) 腕部のレバーとストップレバーを糸でつなぎ、お盆に錘がのり腕が下がったときストップレバーがガンギ車から外れるように糸の長さを調節します。</p>
11-3		<p>1) メカ部分の側面から見た写真です。お盆に載せた湯呑は、一体目を作ったときに紙粘土で作ったものです。</p>
11-4		<p>1) メカ部分を上面から見た写真です。お盆の中央の小さな円は、湯呑を置くときの目印とズレ止めをかねています。全体が紙でできていて軽いため、湯呑の置かれる位置によって重心のバランスが変わってしまうため目印としてつけてみました。</p>
11-5		<p>1) 今回、走行調整を行った結果後の最終カム形状です。操舵開始時になるべく走行抵抗を減らすように、導入部を設け徐々に操舵角を増していくようにしてあります。</p>